

2026年度弘前大学対話会アンケート集約結果

アンケート集約担当：中谷力雄

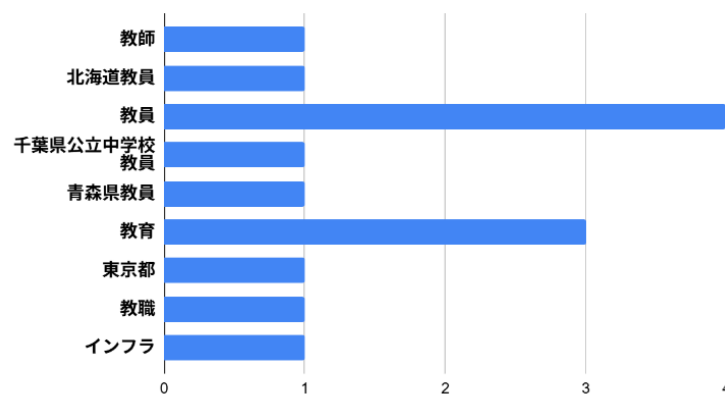
○回答日：2026年07月08日

○回答数：14名（回収率 100%）

学校教育教員養成課程：学部2年2名、3年6名、4年5名、修士1年1名

○進路：就職 100%

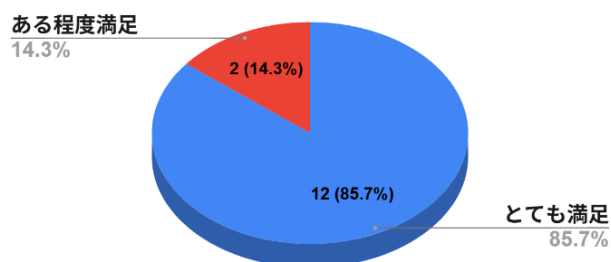
「分野・希望先（具体名は任意）」



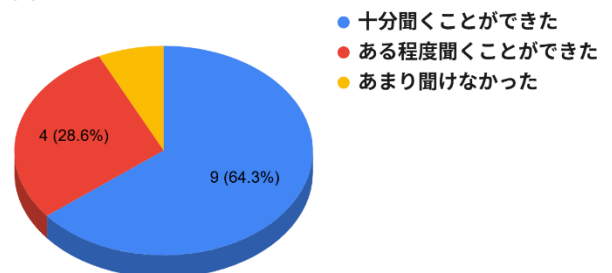
I 対話会に関するアンケート

1. 講演について

(1)講演の内容は満足のものでしたか？



(2)事前に聞きたいと思っていたことを聞けましたか？



あまり聞けなかった理由

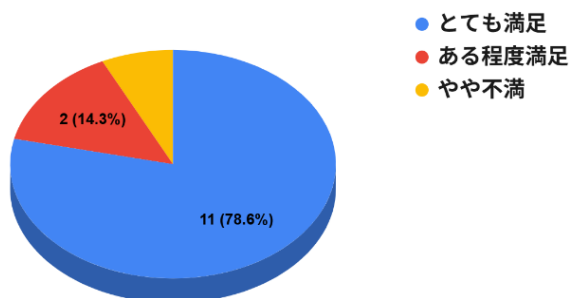
質問時間不足：1名

(3) 今回の講演内容以外で聞きたいテーマがありましたら自由に書いてください。

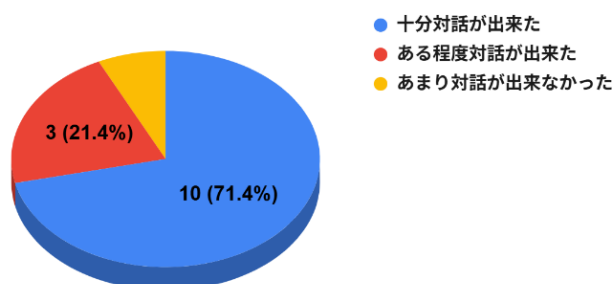
- ・具体的な技術革新の話。未来の話。また、世界の話
- ・バックエンド措置
- ・そもそもこういった事業をどこで知り、参加しようと感じたのか。

2. 対話について

(1)対話の内容は満足のいくものでしたか？



(2)事前に対話したいと思っていたことは対話出来ましたか？



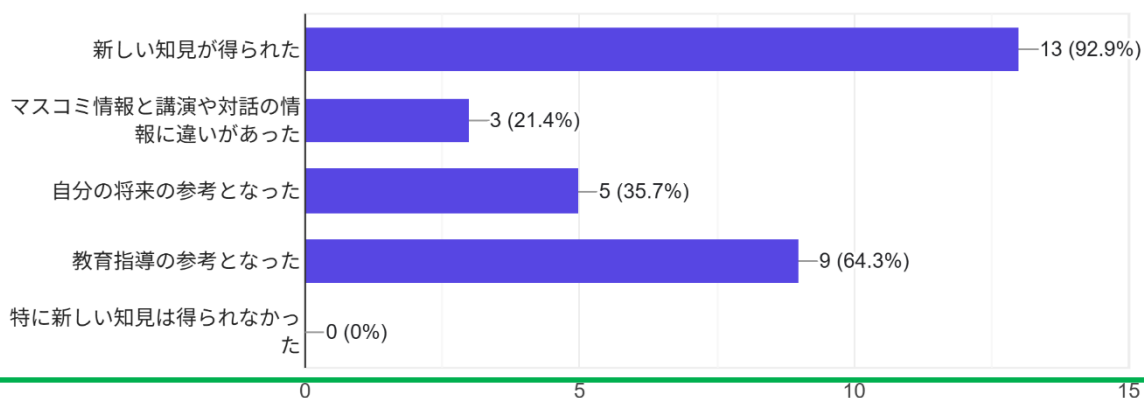
やや不満、あまり対話が出来なかった理由

対話時間不足：1名

3. 今回の講演や対話で得られたことは何ですか？（複数回答可）

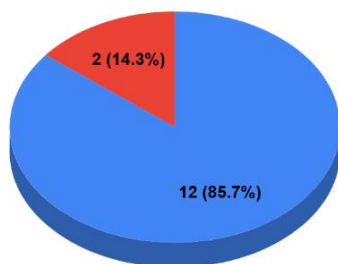
3. 今回の講演や対話で得られたことは何ですか？（複数回答可）

14件の回答



4. 「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？

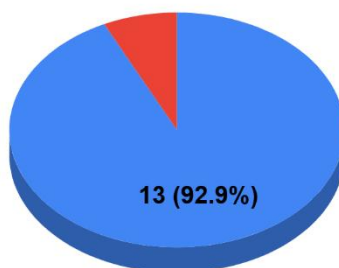
4. 「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？



- 非常にある
- ややある

5. 今後、機会があれば友達や後輩に対話会への参加を勧めたいと思いますか？

5. 今後、機会があれば友達や後輩に対話会への参加を勧めたいと思いますか？

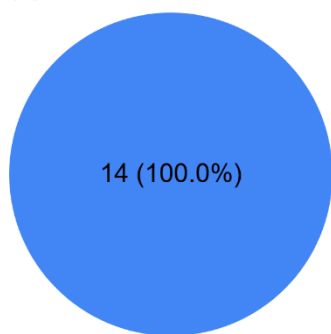


- 薦めたいと思う
- どちらともいえない

Ⅱ 放射線・エネルギー・環境に関する意識調査

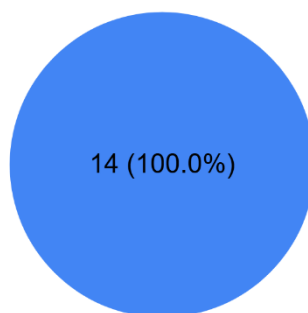
1. 放射線、放射能に対して伺います。あなたの考えに近い項目をチェックしてください。

(1)放射線・放射能の危険性について伺います



- 放射線、放射能は日常的に浴びており、一定のレベルまでは恐れる必要はない

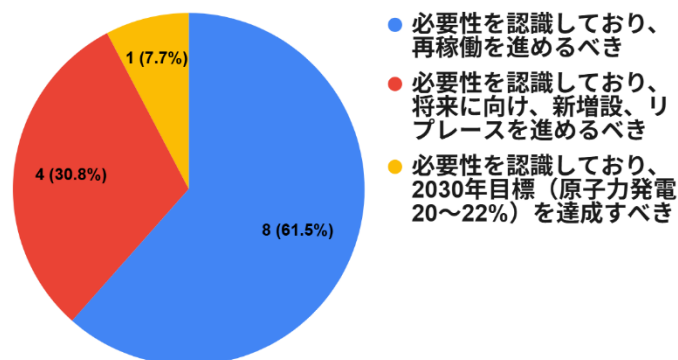
放射線・放射能の生活における有用性について伺います



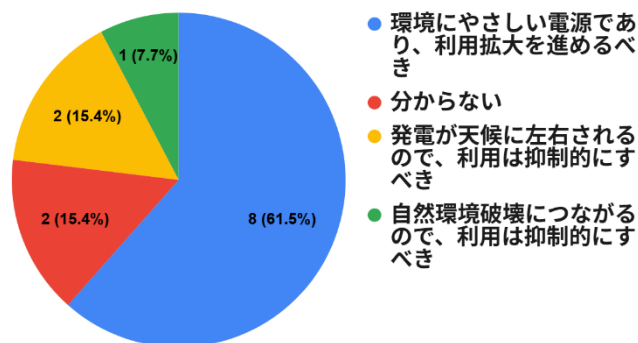
- 医療関係等で利用されており、生活に有用であることは知っている

2. 電源について伺います。あなたの考えに近い項目をチェックしてください。

(1)原子力発電について伺います

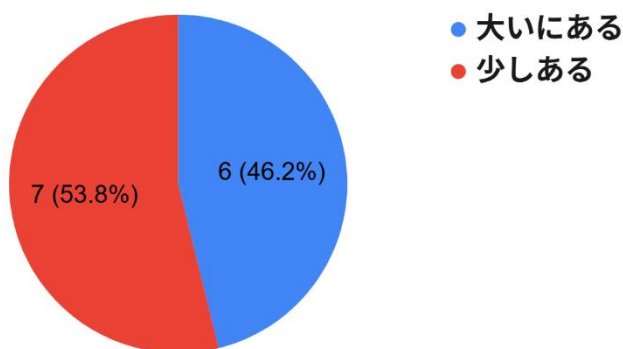


(2)再エネ発電について伺います



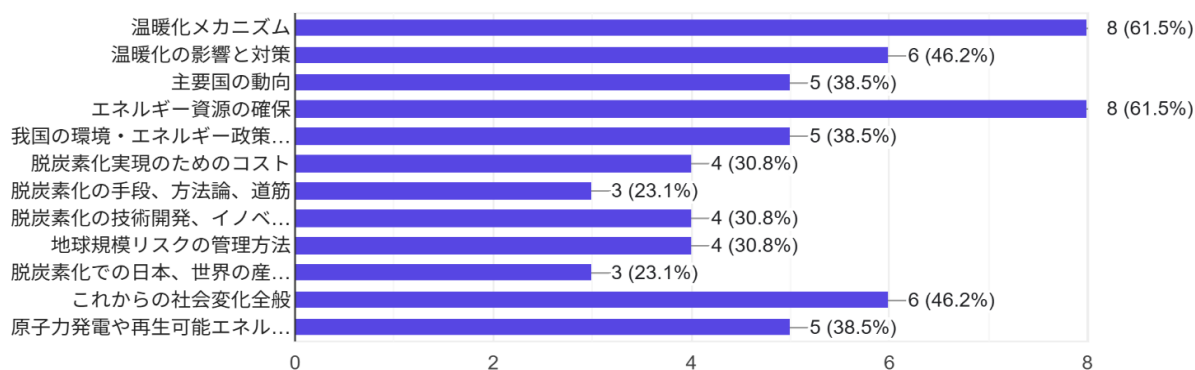
3. カーボンニュートラルとエネルギーについて伺います。あなたの考えに近い項目をチェックしてください。

(1)地球温暖化や脱炭素社会の実現について関心や興味がありますか？

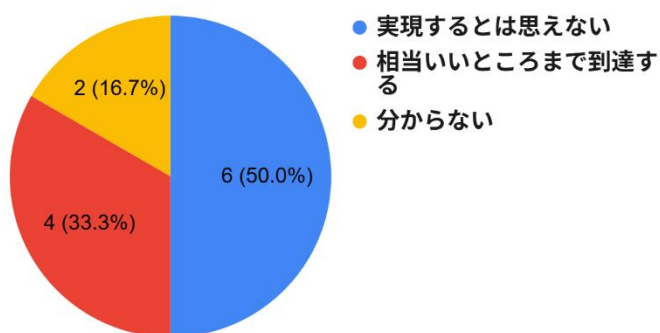


(2)興味や関心があるのはどの項目でしょうか？（複数回答可）

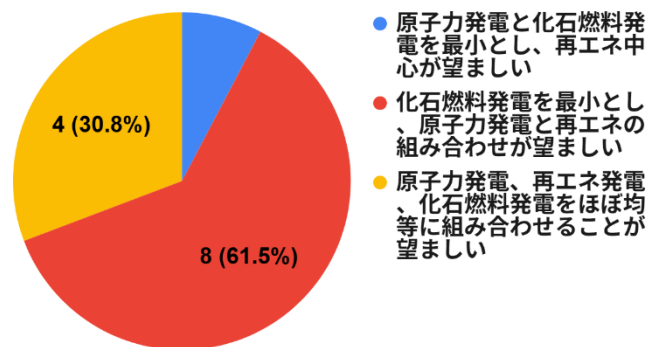
13 件の回答



(3)日本の2050年脱炭素化社会の実現可能性について
の見解を伺います



(4)脱炭素に向けた電源の在り方について伺います



本企画を通して全体の感想・意見などあれば自由に記載ください

- ・自分の知らない知識や考え方を知ることができて楽しく、興味を持てる良い機会にすることができました。
- ・実際に東北電力で働いていた方などに話が聞けて貴重な体験となった
- ・対話の時間を通して、今まで得られなかった知識や、学生のみで話し合った結論とシニアの方々の考えが異なっており、非常に面白い有意義な時間を過ごすことができました。要望として技術者の方だけではなく、住民対応や出前授業など、表に出て活動をされていた方のお話も受けてみたいです。

以上